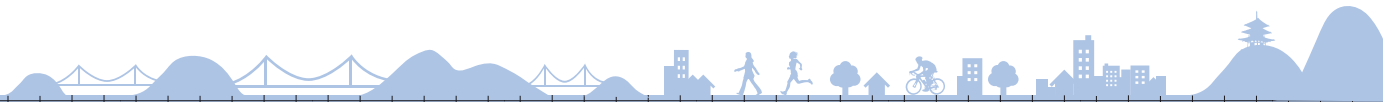


【スポーツ都市 尾道】 —ダイジェスト版—

尾道市スポーツ 推進計画



計画策定の趣旨

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進のため、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものです。また、スポーツを行うことで生まれる、人と人との交流及び地域と地域との交流は、地域の一体感や活力を醸成するものです。

国では、平成23年(2011年)に「スポーツ基本法」を制定し、平成24年(2012年)3月に「スポーツ基本計画」を策定しており、来たる平成32年(2020年)には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定しました。

このような中、本市においても全市的にスポーツを推進していくことが重要であると考え、年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適性等に応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「尾道市スポーツ推進計画」を策定しました。

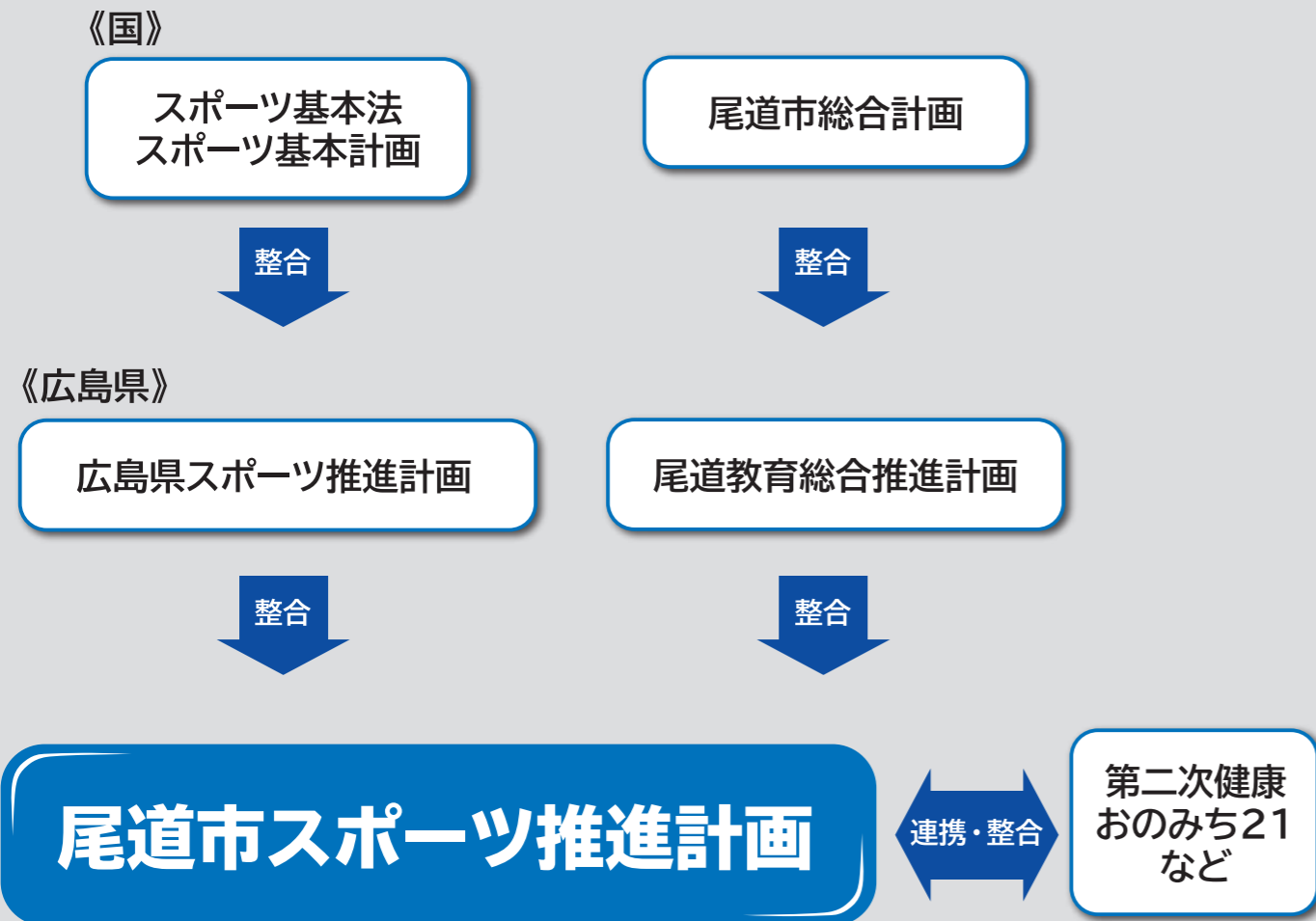
計画の期間

本計画は、平成26年(2014年)度から平成35年(2023年)度の10年間を計画期間(前期5か年、後期5か年)とします。なお、計画の中間年度である平成30年(2018年)度には中間評価と内容の見直しを行います。



計画の位置づけ

本計画では、下図のとおり関連計画との整合を図るとともに、スポーツを幅広く捉え、競技種目だけにとどまらず、ウォーキングやジョギングなど、レベルや内容に関わらず、体を動かすすべての運動を含み、スポーツ分野の施策を体系化し、目指す方向や取組の内容を具体的に示しています。



計画の基本理念



基本理念 スポーツ都市 尾道

本市では、これまで市民がいつでも、どこでも、誰でも、個々の状況に合わせて、運動やスポーツに親しむことができる「スポーツ活動の推進」「生涯スポーツの推進」「競技スポーツの向上」「スポーツ施設の整備」「スポーツを通じた交流の促進」を図ってきました。

本計画においては、スポーツ推進=健康力の向上と捉え、全ての市民がスポーツに関わる機会を増やし、楽しむことにより、健康で活力に溢れる「尾道」の実現を目指すため、国が示す3つの視点「する」「観る」「支える(育てる)」に加えて、「健康」の視点にも留意しながら、多面的なスポーツ施策の展開を図る「スポーツ都市 尾道」を創造してまいります。



好循環サイクルを目指す計画の施策体系

『スポーツ都市 尾道』の基本理念のもと、国が示す3つの視点「する」、「観る」、「支える（育てる）」に加えて、「健康」の視点にも留意しながら、次の5つの基本方針を掲げ、各種取組を推進します。

基本理念

スポーツ 都市 尾道

する

観る

③競技スポーツの向上 ～目指せ！トップアスリート～

【基本的方向】

- (1) 競技者の育成・強化支援
- (2) 指導者の確保・養成支援
- (3) 学校部活動の充実
- (4) トップスポーツの魅力に触れる機会の充実
- (5) スポーツ大会における奨励制度の充実

①スポーツを通じた交流の促進 ～尾道らしさ溢れるスポーツ推進～

する

支える

【基本的方向】

- (1) スポーツ・ツーリズムの振興
- (2) 世代を超えたスポーツ交流
- (3) 地域間のスポーツ交流
- (4) 姉妹都市等とのスポーツ交流

する

支える

②生涯スポーツの推進 ～自らスポーツを楽しめる環境づくり～

【基本的方向】

- (1) 「歩く」、「走る」、「サイクリング」を軸としたスポーツの推進
- (2) 地域におけるスポーツ活動の推進
- (3) 学校におけるスポーツ活動の充実
- (4) ニュースポーツの普及促進
- (5) 各種スポーツ大会・教室等の実施及び関係団体活動支援
- (6) 総合型地域スポーツクラブの普及及び支援
- (7) 障害のある人のスポーツへの参加機会の拡大

支える

④スポーツ施設の整備 ～誰もが利用しやすい施設に向けて～

【基本的方向】

- (1) 市民スポーツ広場の機能充実
- (2) 市内スポーツ施設の効果的・効率的活用
- (3) 市内スポーツ施設の整備・改修（バリアフリー）
- (4) 身近な場所でスポーツに取り組める施設の整備

健康

⑤スポーツによる健康づくりの充実 ～スポーツで健康寿命延伸へ～

【基本的方向】

- (1) スポーツを軸とした健康づくり・高齢者の体力づくり支援
- (2) 健康づくりのためのスポーツ情報発信
- (3) 頭脳スポーツ（脳運動）などの健康関連分野との連携拡大

基本方針
1

スポーツを通じた交流の促進 ～尾道らしさ溢れるスポーツ推進～

地域コミュニティの形成や姉妹都市等との交流を促進するとともに、各種スポーツ大会やイベントを開催し、交流機会の拡大を図ります。



ツール・ド・いくちじま

■モデル事業

仮称『体験型トライアスロン大会』 ⇒近年、サイクリングやランニングを楽しむ方が全国的に増加していることから、尾道らしい独自の体験型トライアスロン大会を開催することで、スポーツを通じた市内の活性化を促進するとともに、「スポーツ都市 尾道」の認知度向上を目指します。

■重点プロジェクト

- ①市独自スポーツ大会のブランド化
- ②スポーツを活かした観光魅力化
- ③スポーツ関係団体の連携強化

基本方針
2

生涯スポーツの推進 ～自らスポーツを楽しめる環境づくり～

それぞれの体力や年齢、技術、目的等に応じて、一生にわたって行えるよう、ライフステージごとにスポーツに親しむことのできる環境づくりを推進します。



市民ベタンク大会

■モデル事業

『1市民1スポーツ運動プロジェクト』 ⇒全市民へスポーツを浸透させるためには、市民の主体的なスポーツ活動を支えていく必要があります。自分に合ったスポーツを見つけ、生涯にわたって家族や友達と日常的にスポーツに親しめるよう、各種スポーツ教室や講習会の充実を図ります。

■重点プロジェクト

- ①市民総スポーツの推進
- ②体験プログラムの提供及び支援
- ③スポーツ推進委員の資質向上
- ④障害のある人のスポーツ活動促進

基本方針
3

競技スポーツの向上 ～目指せ！トップアスリート～

観る者全てに夢や感動を与えるトップアスリートの育成を推進するとともに、全国大会等へ数多くの選手が参加できるよう、個人・団体への支援と関係機関との連携を深め、競技力向上に努めます。



競技力アップ講座

■モデル事業

『キッズスポーツ体験教室』 ⇒スポーツを通じて、社会性の習得やマナー、集団行動における積極性など、豊かな人間性の形成と健全な発育を目指すとともに、幼少期からの運動能力の向上を総合的にサポートする体験教室を実施します。

『学校部活動等指導力養成講座』 ⇒学校の部活動の活性化と市全体のスポーツ競技力の向上を目指し、次世代のアスリートを市内で育成できる環境を整えられるよう、経験豊富な指導者による講習会を部活顧問や地域指導者を対象に開催し、指導力向上に繋がります。

■重点プロジェクト

- ①トップアスリートの発掘・育成・強化支援
- ②地域スポーツ指導者の活用
- ③市民の関心を高めるスポーツストリートイベント等(参加型アトラクション)

基本方針
4

スポーツ施設の整備 ～誰もが利用しやすい施設に向けて～

各スポーツ施設(学校体育施設含む)の機能・設備の充実を図り、誰もが行きたいと思える施設整備を推進します。



御調グラウンド・ゴルフ場
ソフトボール球場

■モデル事業

『誰もがウォーキングしやすい環境整備』 ⇒市民が身近な施設で、より安心してウォーキングに励めるように、古寺めぐり・海・山・川を活かしたコースも含め、公園や広場など環境整備を進めていきます。

『夏期早朝時間帯の利用促進へ、施設利用時間の変更』 ⇒夜間開放のような照明代がかからないことや猛暑を避けるなどのメリットもあることから、市の屋外施設を夏期限定で利用時間を早めるなどの早朝運動を推進していきます。

■重点プロジェクト

- ①多目的広場等の機能充実
- ②スポーツ施設及び学校体育施設の利用促進
- ③旧小・中学校を有効活用したスポーツ施設整備

基本方針
5

スポーツによる 健康づくりの充実 ～スポーツで健康寿命延伸へ～

いくつになっても健康で充実した日々を、誰もが過ごすことができるよう、健康づくり・体力づくりに向けた、身近なスポーツ活動の充実に努めます。



シルバーリハビリ体操

■モデル事業

『シルバーリハビリ体操』の普及 ⇒高齢者の健康寿命延伸と地域づくりを目的とした、体操指導士をボランティアとして募集・指導を行い、普及へと繋げていきます。

仮称『アラ還ピック2020』へ向けての取組 ⇒市民対象の総合スポーツ大会(シニアのオリンピック)。各地区代表(町民運動会地区予選方式または地区推薦等)により、各種目の代表が尾道一を目指し、日々、練習に励むことで高齢者の生きがいづくり・健康づくり・体力づくりを図ります。また、グループ競技や地区対抗、孫世代との競技を取り入れることにより地域愛を育み、世代間、地域間交流も促進します。

■重点プロジェクト

- ①スポーツ活動への誘導
- ②シニア向けスポーツ教室等の開催
- ③健康・スポーツに関する意識の啓発

数値目標 一覧

現状値
(平成22年度～25年度)

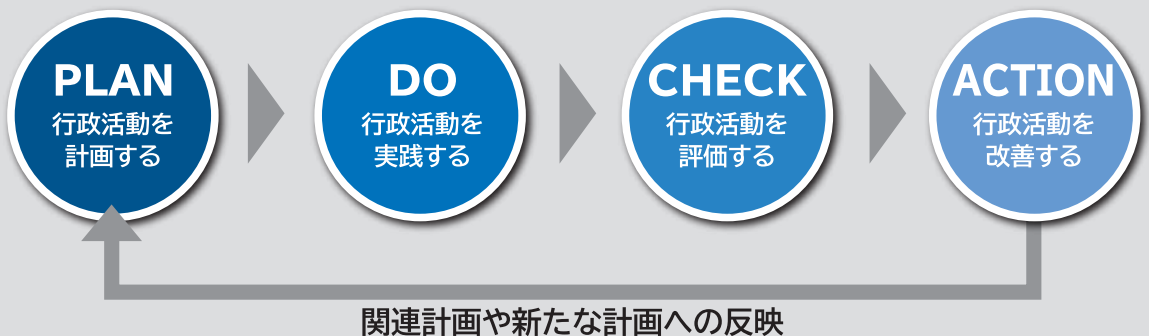
目標値
(平成35年度)

00 このマークは年度を示します。

●スポーツ大会講習会等参加者数	24 6,821人	▶	7,500人
●成人の週1回以上のスポーツ実施率	25 32.5%	▶	50.0%以上
●児童・生徒の週1回以上の スポーツ実施率(学校の体育の授業を除く)	25 小学校4年生 91.3% 小学校6年生 92.3% 中学校1年生 93.9% 中学校2年生 80.0%	▶	いずれも100%
●スポーツ施設利用者数	24 1,191,083人	▶	1,350,000人
●全国大会出場者数(小・中学生)	24 43人	▶	50人
●全国大会出場者数(高校生)	24 93人	▶	110人
●全国大会出場者数(一般)	24 87人	▶	100人
●スポーツ・レクリエーション施設の 整備に関する市民満足度	25 50.6%	▶	60.0%
●健康寿命の延伸	22 男性 77.54歳 女性 82.07歳	▶	いずれも ↑

計画の 推進体制

- ①庁内における推進及び評価体制の整備: 下図にあるPDCAサイクルを実行し、実効性の高い計画とします。
- ②市民視点からの評価: 進捗状況や数値目標の達成状況を随時公表し、意見を施策へ反映できるよう努めます。
- ③市民、団体等との連携・協働: 意識啓発活動を推進するとともに誰もが参加しやすい環境づくりを進め、各種団体と連携・協働した取組を積極的に実施します。



スポーツ都市 尾道

尾道市スポーツ推進計画 -ダイジェスト版-
平成26年3月